

第7 健康支援課

1 母子保健対策

(1) 長期療養児等療養相談事業

ア 療養相談指導事業

① 療育相談指導事業

事業内容(概略など)	参加スタッフ	開催回数	参加人数 (実人数)
小児慢性特定疾患児をもつ保護者に対して、小児慢性特定疾患更新時に面接を行い、家庭における療養上の指導を行うとともに、福祉制度の紹介、精神的支援、その他の日常生活等に関し必要な内容についての相談指導を行う。	保健所保健師	5回	保護者：35人 スタッフ：4人

② 巡回相談指導事業

事業内容(概略など)	参加スタッフ	開催回数	参加人数 (延人数)
理学療法士市町村支援【概要：市町村において関わりのある児やその保護者に対して、理学療法士が事業等に介入し、児の状況を把握した上で専門的な相談指導を行う。また、市町村保健師等が児や保護者に対して適切に関わることにより、児の成長発達を促す。】	市町村保健師 音楽療法士 保育士 等	5市町村 延23回	児・保護者： 261人 スタッフ： 115人

イ 養育者等支援事業

① ピアカウンセリング

日時	参加者数	(再掲) 児	内容
H23. 10. 7 10:00~12:00	8名	3名	先輩ママから育児についての助言等
計 1回	8名	3名	

② 交流会・学習会、ペアレントトレーニング

日時	参加者数	(再掲) 児	内容
H23. 9. 16 13:30~16:30	5名	4名	学習会「未熟児の成長発達について」
H23. 10. 7 10:00~12:00	8名	3名	交流会「参加者同士の交流会」
計 2回	20名	4名	

ウ 支援関係機関（者）連絡会議

事業内容（概略など）	参加スタッフ	開催回数	参加人数 (実人数)
<p>疾病や障害等によって複雑困難な健康課題を抱えている対象児及び養育者に、医師・心理職等を交えた関係機関(者)による連絡会議等を開催し、関係者の支援体制を整備する。</p>	<p>保健所保健師 保健所理学療法士 保健所管理栄養士 山梨大学大学院準教授</p>	<p>5回</p>	<p>8人</p>

エ 遺伝等母子保健専門相談

- ① 一次相談 1件
- ② 二次相談 1件

(2) 母子保健推進業務

母子保健水準の向上を図り、管内地域における母子保健の基盤整備、関係機関の連絡調整及び地域組織等の育成等総合的な支援体制の整備等を推進するため、以下のとおり事業を実施した。

ア 母子保健推進会議（発達障害者支援会議と合同開催）

日 時	内 容
① H23年5月27日 ② H23年12月1日 ③ H24年2月24日	① ・管内における低出生体重児対策の経緯 ・管内における母子保健状況について ・妊娠届出時間診票の項目確認 ・妊産婦および低出生体重児支援の現状について ② ・提出された妊娠届出時間診票データ分析結果、課題の検討 ・喫煙対策などの質的データについて ③ ・管内における妊婦と低出生体重児の関係 ・禁煙・防煙対策の取り組み状況 ・今後の低出生体重児対策の取り組みについて
場 所	
富士吉田合同庁舎 2階 大会議室	
出席者	
市町村母子保健担当者、医療機関（助産師）、山梨大学大学院准教授、保健所 ① 19名② 23名 ③ 19名	

イ 母子保健関係者研修会

日 時	内 容
平成24年2月13日	テーマ：「乳幼児健診を基盤とした発達障害の早期発見・早期療育」 講 師：こころの発達総合支援センター 本田秀夫 所長 内 容：乳幼児健診を基盤とした発達障害の早期発見・早期療育について学んだ。
場 所	
富士吉田合同庁舎 3階 中会議室	
出席者	
各市町村、保健所保健師 30名	

ウ 市町村母子保健担当者会議

日 時	内 容
H23年12月1日	① 富士・東部保健福祉事務所母子保健事業・取り組みについて ② 乳幼児健康診査、フォロー方法について情報交換・意見交換 ③ こころの発達総合支援センターの取り組みについて
場 所	
富士吉田合同庁舎 2階 大会議室	
出席者	
市町村母子保健担当者 保健所健康支援課長・母子保健担当者 25名	

2 小児医療対策

保健所における小児医療給付には、養育医療給付、自立支援医療（育成）給付、小児慢性特定疾患治療研究事業があり、申請時に保護者と面接を行い、療育上の相談と医療費の公費負担を行っている。

（１）養育医療

母子保健法第20条に基づき、養育のため病院に収容することを必要とする未熟児を指定養育医療機関に入院させ、医療給付を行った。

平成23年4月1日～平成24年3月31日

	養育医療給付数（人）
富士吉田市	1
都留市	6
大月市	3
上野原市	2
道志村	0
西桂町	1
忍野村	4
山中湖村	0
鳴沢村	0
富士河口湖町	1
小菅村	1
丹波山村	1
計	20

（２）自立支援医療（育成医療）

（単位：人）（平成24年3月末現在）

	富士吉田市	都留市	大月市	上野原市	道志村	西桂町	忍野村	山中湖村	鳴沢村	富士河口湖町	小菅村	丹波山村	計
肢体不自由	2	1		1						1			5
視覚障害													0
聴覚・平行機能障害	1						1						2
音声・言語咀嚼障害	4	1	3	1		1	2	1		1			14
心機能障害	11	2	2	1			1			1			18
腎臓機能障害													0
その他	2		3										5
不承認													0
計	20	4	8	3	0	1	4	1	0	3	0	0	44

(3) 小児慢性特定疾患治療研究事業

(単位：人) (平成24年3月末現在)

	富士吉田市	都留市	大月市	上野原市	道志村	西桂町	忍野村	山中湖村	鳴沢村	富士河口湖町	小菅村	丹波山村	計
悪性新生物	8 (3)	5 (2)	2	2		1 (1)		1	1	3			22 (6)
慢性腎疾患	2	4 (2)	2	1						1			10 (2)
慢性呼吸器疾患	6 (1)	1 (1)		1 (1)		1 (1)				2			11 (4)
慢性心疾患	4 (1)	1	2 (1)			1				2			10 (2)
内分泌疾患	34 (3)	13 (2)	2	7		5	4 (1)	4		7			76 (6)
膠原病	1 (1)	1		1			2 (2)						5 (3)
糖尿病	2			1			2						5 (0)
先天性代謝異常	1	2 (1)	1			1							5 (1)
血友病等血液疾患	2												2 (0)
神経・筋疾患	2	1		3						1			7 (0)
慢性消化器疾患	3	1	2					2		1			9
計	65 (9)	29 (8)	11 (1)	16 (1)	0 (0)	9 (2)	8 (3)	7 (0)	1 (0)	17 (0)	0 (0)	0 (0)	163 (24)

うち()内 平成23度新規

(4) 先天性代謝異常等検査

フェニルケトン尿症等の先天性代謝異常は、放置すると知的障害等の症状をきたすおそれがあるので、新生児に対して血液によるマス・スクリーニング検査を実施している。平成23年度については、要精密検査対象児は2名であった。

(5) 不妊に悩む方への特定治療支援事業

不妊治療のうち、保険外診療である特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)については、

治療費が高額で経済的負担が重いため、その軽減を図ることを目的にその費用の一部を平成16年度から助成している。

平成19年度から年2回まで助成できるよう改正され、平成21年度からは1回あたりの助成限度額が10万円から15万円に拡充された。平成23年度からは初めて本助成制度を申請する方に限り、申請初年度のみ年間の助成回数は3回までとなった。

平成23年度市町村別助成件数

	実件数	延件数
富士吉田市	26	47
都留市	10	16
大月市	10	18
上野原市	13	26
道志村	2	4
西桂町	0	0
忍野村	3	8
山中湖村	2	4
鳴沢村	1	1
富士河口湖町	26	44
小菅村	0	0
丹波山村	0	0
計	93	168

(6) 新生児聴覚検査事業

聴覚は乳幼児の音声発語の獲得、発達に欠かせないものであり、児の健やかな成長、将来の社会参加のために大切である。新生時期にスクリーニング検査を行うことで、早期に難聴を発見し、脳が柔軟な乳児期に適切な療育を行う必要があることから本事業を行っている。

※平成23年度については、要精密検査対象児はなし。

3 母子保健地域組織の育成

母と子の健康を中心に地域住民の健康づくりを目指して、自主的な活動ができるよう、地域組織の育成を実施した。

(1) 母子保健地域組織一覧

平成 23 年 6 月 30 日現在

連合加入	組 織 名	結成年月	組織形態	世帯数 H24. 3. 1 現在	会員数 (世帯)	班数	分班 数	班員数 (人)
○	都留市愛育連合会	S35. 4	婦人会即	13,689	1,144	2	8	41
○	大月市愛育会	S34. 1 (H9. 10 改)	保健活動 推進員会	10,172	10,744	1	9	131
○	上野原市愛育連合会	S33. 12 (H17. 4 改)	単独	9,949	241	3	6	241
○	西桂町愛育会	S34. 10	婦人会即	1,442	898	1	5	42
○	忍野村愛育会	S35. 4	婦人会即	2,852	1,957	1	7	52
○	山中湖村愛育会	S33. 3	婦人会即	1,776	2,167	1	6	25
○	富士河口湖町 勝山愛育会	S35. 4 (S60. 4 改)	婦人会即	9,595 (町全体)	897	1	9	13
	鳴沢村母子愛育会	S34. 4	婦人会即	1,045	485	1	2	56
○	小菅村愛育会	S47. 4	婦人会即	349	343	1	8	24

(2) 愛育組織育成状況

ア 保健所実施

開催 年月日	場 所	内 容	参加 (人)
23.10.4	富士吉田合同庁舎 2階 大会議室	班員研修会 講義・実演 「子どもの健やかな成長のための楽しい表現活動・スキンシップ」 講師:山梨学院短期大学 川上琴美氏	75

イ 育成者研修、会議等

開催年月日	場 所	内 容	参加 (人)
24. 1. 12	富士吉田合同庁舎 2階 大会議室	○育成者会議 1) 地域組織育成者研修会の伝達 2) 地域組織支援の意義について 3) 地域組織育成者の共通課題と取り組みについて 4) 市町村愛育会と保健所管内愛育連合会の連合に向けて	8
計			8

ウ 市町村支援

開 催 年月日	実施主体	内 容	参加 (人)
H23. 4. 5	忍野村愛育会	忍野村定期総会	約 100
H23. 4. 12	富士河口湖町勝山愛 育会	富士河口湖町定期総会	約 17
H22. 4. 28	大月市愛育会	大月市保健活動推進員会総会	約 74
H23. 5. 31	山中湖村愛育会	山中湖村定期総会	約 60
H23. 5. 26	上野原市愛育連合会	上野原市愛育連合会定期総会	約 30
H23. 7. 7	西桂町愛育会	西桂町愛育会班員研修会	約 30
H23. 10. 12	都留市愛育連合会	都留市愛育連合会中央研修会	約 17
計			約 328

4 看護推進対策

(1) 保健師就業状況

ア 市町村保健師設置状況

単位：人（平成24年3月末現在）

市町村名	人口	保健師 総数	雇用形態		所属			
			正規	嘱託・臨時	保健	福祉	介護	医療・看護学校
富士吉田市	50,036	16	16	0	7	3	5	1
都留市	33,277	11	9	2	9	1	1	
大月市	27,536	9	9		7		1	1
上野原市	26,458	10	10		8	1	1	
道志村	1,885	2	2		2			
西桂町	4,482	3	3		2		1	
忍野村	8,741	5	5		4		1	
山中湖村	5,284	4	4		2		2	
鳴沢村	2,981	3	3		3			
富士河口湖町	25,537	9	9		8	1		
小菅村	796	1	1	0	1			
丹波山村	651	2	2		2			
管内合計	187,664	75	73	2	55	6	12	2

*人口はH24年3月1日の推計人口

イ その他保健師設置状況

単位：人

所属名	保健師数
ファナック健康管理センター	2
山梨日本電気株式会社	1
都留児童相談所	1
富士・東部保健福祉事務所	7

(2) 現任教育

ア 保健師リーダー期・管理期研修会

管内の市町村保健師のリーダー・管理期の保健師が、各所属の保健師現任教育の推進が図れるよう研修会及び情報交換を実施した。

日時	場 所	内 容	人数
H24. 1. 16	富士吉田合同庁舎	話題提供 「平成 22 年度保健師管理者能力育成研修を受講して」 富士吉田市役所健康長寿課健康推進室 宮下まゆみ 室長 「平成 23 年度全国保健師長会研修会に参加して」 富士・東部保健福祉事務所 地域保健課 霜村 信子 課長 管内の現任教育体系についての検討	16

イ 保健師全体研修

【健康危機管理】

日時	場 所	内 容	人数
H23. 7. 12	富士吉田合同庁舎	講義「災害時における保健師活動マニュアルの確認、災害派遣の保健活動のまとめ」 山梨県医務課看護担当 河西文子主幹 災害派遣報告 グループワーク「支援台帳整備と活用方法」	24

【地域診断】 山梨県国保連合会「医療費適正化に向けた市町村保健活動支援事業」活用

日時	場 所	内 容	人数
H23. 11. 14	富士吉田合同庁舎	講義・演習 「生活習慣病の実態把握」 講師 山梨県国保連合会企画情報課 神谷まろみ 課長補佐 宮沢さかえ 保健師 石井まゆ美 保健師	28
H23. 12. 12	富士吉田合同庁舎	各市町村のデータをもとに演習・まとめ ① 地域診断の展開過程をベースにした生活習慣病対策 ② 地域診断の位置付けとしくみづくり 講師 山梨県国保連合会企画情報課 神谷まろみ 課長補佐 宮沢さかえ 保健師 石井まゆ美 保健師	25
H24. 3. 12	富士吉田合同庁舎	講義・演習 「生活習慣病の実態把握」まとめ 講師 山梨県国保連合会企画情報課 神谷まろみ 課長補佐 宮沢さかえ 保健師 石井まゆ美 保健師	28

ウ 保健師業務研究会

保健師活動を推進する上で、保健師の専門性を深めるために、実践的な技術の向上を図ることを目的に実施した。 ※現任教育と合同開催あり。

日 時	場 所	内 容	参加者数
H23. 5. 9 13:30～16:00	富士吉田 合同庁舎	1) 新任職員紹介 2) 各市町村保健師紹介 3) 年間計画（案）の確認 4) 情報提供「災害派遣での保健活動」 5) 伝達講習「プレゼンテーション研修」 講師：富士吉田市役所 宮下まゆみ 室長	23
H23. 7. 11 13:30～16:00	富士吉田 合同庁舎	1) 講義「災害時における保健師活動マニュアルの確認、災害派遣の保健活動のまとめ」 講師：山梨県医務課 河西文子 主幹 2) 情報提供「災害派遣での保健活動第2弾」 3) グループワーク「支援台帳の整備と活用方法」	25
H23. 11. 14 13:00～16:00	富士吉田 合同庁舎	講義「生活習慣病の実態把握」 講師 山梨県国保連合会企画情報課 神谷まろみ 課長補佐 宮沢さかえ 保健師 石井まゆ美 保健師	30
H24. 3. 12 13:30～16:00	富士吉田 合同庁舎	1) グループワーク「生活習慣病対策について情報交換・意見交換」 2) 保健師業務研究会の今年度の反省及び次年度の計画	21
		合 計	99

(3) 地域看護推進業務

ア 管内病院看護部長・総看護師長会

看護管理としての看護現場の課題検討と情報交換を実施した。

日 時	場 所	内 容	参加者数
H23. 8. 2	富士吉田合同庁舎	各病院の看護確保・定着のための平成23年度の取り組み状況と課題 情報交換	10人
H224. 1. 20	富士吉田合同庁舎	各病院の看護確保・定着対策の今年度の課題と来年度の取り組み・具体策 情報交換	7人

イ 市町村保健師業務連絡会

広域的立場から市町村保健師と情報交換や業務の見直しについて検討会等を実施した。

(次ページに業務一覧)

市町村名	内 容	回数
富士吉田市	業務打合会 (母子担当)	4
都留市	業務打合会	2
	乳幼児育成指導事業運営会議	2
	乳幼児育成指導事業研修会	1
	精神保健学習会	1
大月市	業務打合せ会	1
上野原市	業務連絡会	1
道志村	業務連絡会	2
西桂町	業務連絡会	1
	業務打合会	3
忍野村	業務連絡会	1
	健康づくり推進協議会	1
山中湖村	業務連絡会	1
鳴沢村	業務打合会	2
	健康づくり推進協議会	1
	健康づくりのつどい	1
富士河口湖町	中学生の禁煙教育関係	2
	低体重児データ分析	1
小菅村	業務連絡会	2
丹波山村	業務連絡会	3
	体操打合せ	1

(4) 在宅ターミナルケア等地域連絡会議

がん末期患者等在宅療養者が希望する終末期ケアを受けられるよう、在宅ホスピスに関する保健・医療・福祉の総合的なサービスを提供する体制づくりを目的に設置し検討した。

日 時	場 所	内 容	参加者数
H23. 11. 18	富士吉田合同庁舎	在宅ターミナルケア地域連絡会議の 状況報告 話題提供「在宅療養を希望しながら果たせなかった事例 ～本人・家族が納得して最期を迎えるために～」 つる訪問看護ステーション 金井のり子所長 意見交換（社会資源情報の作成について）	10人
H23. 12. 26	富士吉田合同庁舎	在宅ターミナルケア小委員会 管内版 社会資源パンフレットの内容検討	8人

(5) 看護普及啓発

ア 一日看護師

管内の高校生を対象に、看護に対する正しい知識と理解を深めるとともに、看護職選択への動機づけの一助とすることを目的に実施した。

実施月日	病 院 名	参加高校名	参加生徒数 (男子再掲)
平成 23 年 6 月 14 日	山梨赤十字病院	吉田高等学校	8(1)
6 月 20 日	上野原市立病院	上野原高等学校	10(2)
	三生会病院	都留高等学校	11(2)
	回生堂病院	都留高等学校 桂高等学校	15(3)
6 月 21 日	富士吉田市立病院	富士河口湖高等学校 富士北稜高等学校 桂高等学校	48(9)
	山梨赤十字病院	吉田高等学校 富士学苑高等学校	29(1)
	都留市立病院	上野原高等学校	14(2)
6 月 23 日	山梨赤十字病院	桂高等学校	29(4)
	大月市立中央病院	大月短大附属高等学校 日本大学明誠高等学校	25(6)
	ツル虎ノ門外科・リハビリテーション病院	日本大学明誠高等学校 谷村工業高等学校	11(7)
合 計	病院数 8	高校数 11	200 (37)

イ 看護の心普及キャンペーン

「フェスタ看護」事業の一環として「看護の日」の啓発を図るとともに、看護についての正しい理解と関心を高めるため実施した。

実施年月日	平成23年5月12日（木） 午前7時～11時30分
実施場所	・病院正面玄関等 富士吉田市立病院、山梨赤十字病院 ・駅前及び高校前 JR大月駅、富士急 赤坂駅、同 都留文大前
実施内容	・「看護の日」の説明、看護への関心を高めるような言葉かけ、啓発物品（カット絆）の配布。 ・血圧測定 ・呼気中一酸化炭素濃度測定と禁煙啓蒙活動
参加者	管内病院、市町村、富士・東部保健福祉事務所の看護職員

（6）看護師等再就業相談事業

看護師等の人材確保に関する法律第11条に基づき、看護師等就業協力員として、保健所で「看護師等再就業相談窓口」を開設し、潜在看護力の活用を図る中で看護師等の確保を推進している。

	再就業相談	ナースセンター等の紹介	悩みごと相談
実人員	6人	5人	6人
回数	6回	5回	6回

5 難病対策

原因不明で治療法が確立されていない各種難病については、治療期間も長期にわたり医療費も多額になることから、特定疾患として指定し医療費の給付を行い、患者負担の軽減を図っている。

また、難病患者及びその家族に対し、在宅療養上の適切な支援を行うことにより、安定した療養生活の確保と患者等の生活の質の向上が図れるよう、難病患者地域支援対策推進事業を実施している。

	対象疾患	管内	富士吉 田市	都留市	大月市	上野 原市	道志村	西桂町	忍野村	山中 湖村	鳴沢村	富士 河口 湖町	小菅村	丹波山 村
46	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)													
47	脊髄性筋萎縮症													
48	球脊髄性筋萎縮症	2	1	1										
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎													
50	肥大型心筋症	3			1				1	1				
51	拘束型心筋症													
52	ミトコンドリア病													
53	リンパ脈管筋腫症 (LAM)													
54	重症多形滲出性紅斑 (急性期)													
55	黄色靱帯骨化症	2		1								1		
56	間脳下垂体機能障害	11	3	1	3	1			1			2		
合計		708	180	117	124	101	11	14	15	25	12	101	4	4

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

疾患系	支援計画策定件数	支援計画評価件数
膠原病系	1 1	1 1
消化器系	1 2	1 2
神経系	2 2	2 2
血液系	1 1	1 1
循環器系	4	4
その他	3 7	3 7
計	9 7	9 7

・在宅療養支援計画策定・評価委員会開催状況

開催回数	5回	
出席者	① 健康支援課長（管理栄養士） 健康支援課員（理学療法士、保健師、栄養士）	7名
	② 健康支援課長（管理栄養士） 健康支援課員（理学療法士、保健師、栄養士）	7名
	③ 健康支援課長（管理栄養士） 健康支援課員（理学療法士、保健師、栄養士）	7名
	④ 健康支援課長（管理栄養士） 健康支援課員（理学療法士、保健師、栄養士）	6名
	⑤ 健康支援課長（管理栄養士） 健康支援課員（理学療法士、保健師、栄養士）	7名

イ 訪問相談事業

実施方法	(対象者) 実人員 5名 (訪問者) 保健師、管理栄養士、理学療法士 等						
事業結果 の概要	訪問相談 計画回数	訪問相談 対象延人員	訪問相談従事延人員				計
			医師	看護師	保健師	その他	
						5	5
	(主な相談内容)						

ウ 訪問看護師等育成事業

対象者 (研修人員内訳)	職種別延人員					
	医師	看護師	保健師	事務職員	その他	計
						0
研修期間		研修人員		研修実施場所		
日間 × 回						
計						
研修内容等の概要						

エ 医療相談事業

医療相談班数	医療相談実施回数	医療相談対象延人員	医療相談班従事延人員					
			医師	看護師	社会福祉士	保健師	その他	計
5	8	572	2			25	18	45

開催年月日	平成23年6月29日	平成23年7月1日
参加者数	90名	77名
実施内容	更新手続き時における療養・健康相談	更新手続き時における療養・健康相談
実施場所	富士吉田合同庁舎	大月市民会館
指導者の所属、職、氏名	保健所保健師、保健所理学療法士	保健所保健師、保健所管理栄養士 保健所理学療法士

開催年月日	平成23年7月5日	平成23年7月7日
参加者数	87名	70名
実施内容	更新手続き時における療養・健康相談	更新手続き時における療養・健康相談
実施場所	富士吉田合同庁舎	上野原市もみじホール
指導者の所属、職、氏名	保健所保健師、保健所管理栄養士 保健所理学療法士 ピアカウンセラー(パーキンソン病)	保健所保健師、保健所管理栄養士 保健所栄養士、保健所理学療法士

開催年月日	平成23年7月13日	平成23年7月15日
参加者数	110名	96名
実施内容	更新手続き時における療養・健康相談	更新手続き時における療養・健康相談
実施場所	富士吉田合同庁舎	大月市民会館
指導者の所属、職、氏名	保健所保健師、保健所管理栄養士 保健所理学療法士 ピアカウンセラー(膠原病)	保健所保健師、保健所管理栄養士

開催年月日	平成23年9月9日	平成23年10月26日
参加者数	24名	8名
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「難病の制度について」 ・「パーキンソン病のリハビリについて」 保健所理学療法士 鷹野直樹 <ul style="list-style-type: none"> ・「交流会」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽療法について」 講師：日本臨床心理研究所 山本智美認定音楽療法士
実施場所	富士吉田合同庁舎	富士吉田合同庁舎
指導者の所属、職、氏名	保健所保健師、保健所管理栄養士 保健所理学療法士	認定音楽療法士 保健所保健師、保健所管理栄養士 保健所理学療法士

相談内容

相談内容	(相談例)	件数
病気・症状に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・病気に関する情報 ・病状悪化、進行について ・リハビリについて ・療養状況について 	65
治療・服薬に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・薬の副作用について ・病院の追加や変更等について 	14
看護・日常生活に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅でできる運動について ・介助の方法について ・食事に関することについて 	48
福祉制度に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度について ・身体障害者手帳について ・訪問看護ステーションについて 	13
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・就労について ・病院について ・経済的な不安 ・患者会について ・難病相談、支援センターについて ・申請書類等について (税金関係) 	23
計		163

6 健康づくり関係

(1) 生活習慣病対策

ア 保健所保健医療計画の策定

すべての住民が、生涯にわたって幸せで豊かな生活を送るためには、心身ともに健康であることがなにより大切である。

このため、富士北麓地域保健医療計画（富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町＝6市町村）並びに東部地域保健医療計画（都留市、大月市、道志村、上野原市、小菅村、丹波山村＝6市村）を策定し、保健医療施策を展開している。

イ 市町村健康増進計画策定支援

「市町村健康増進計画」は、各市町村において策定している。平成25年度の次期プランに向けて見直し・評価等へ支援をした。

ウ 市町村食育推進計画策定支援

市町村が、食育基本法に基づき食育推進計画を策定するよう指導及び支援した。

管内の状況：

- ・都留市は、第2次食育推進計画を策定中
- ・上野原市、道志村、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、丹波山村で策定済み
- ・富士吉田市、大月市、西桂町、小菅村は策定へ向けて支援をした。

エ 生活習慣病予防講習会の実施

50人以下の小規模事業所の管理者を対象に、メタボリックシンドロームの予防に焦点を当てた生活習慣予防に関する講習会を実施した。

月 日	場 所	内 容	対 象 者
9月27日	富士吉田商工会議所	生活習慣病とがん	富士吉田商工会議所 商工業振興委員
12月15日	ハイランドリゾートホテル	中高年齢者の健康管理について	富士急行株式会社社員 平成24年度定年退職者

(2) 健康づくり推進事業

健やか山梨21推進事業

住民の健康づくりの実践と啓発のため、健康づくりの施策である「健やか山梨21（2008年度版）」の普及に努め、住民一人ひとりが、自らの生活習慣を見直し、健康づくりの実践ができるよう支援した。

※保健所が協力・支援している市町村の状況

市町村名	事業名	日 程	場 所
忍野村	平成23年度おしの村福祉健康まつり	平成23年7月10日 日	忍野村保健福祉センター
大月市	第17回大月市福祉・保健まつり	平成23年11月12日 土	大月市総合福祉センター
鳴沢村	鳴沢村第33回たっしやまつり	平成24年2月19日 日	鳴沢村総合センター

* 健康づくり委員・協議会等への支援
富士吉田市・大月市・忍野村・鳴沢村

イ 地域・職域連携推進事業

住民の生涯を通じて継続的な健康管理を図るため、地域保健・職域保健及び関係団体が連携し、効果的かつ効率的な保健事業を展開、推進することを目的とし、平成18年度に協議会を設置した。

委員任期2年 地域12名 職域6名 医療機関・健診機関・保険者等6名 計24名

23年度は富士・東部地域・職域保健連携推進協議会を9月に開催した。

- 協議・検討事項
- ・ 地域・職域における特定健診・特定保健指導について
 - ・ 地域における未受診者対策について
 - ・ 地域・職域の連携のあり方について

ウ 禁煙・分煙推進事業

平成16年2月より県内の公共機関、事業所等に置いて受動喫煙対策を実施している施設を「禁煙・分煙認定施設」として認定している。さらに平成23年4月から時間帯禁煙や特定日禁煙を行っている飲食店を対象に、「禁煙推進店」を募集し、山梨県のホームページなどで公表している。

また、各機関に対して禁煙・分煙対策の推進を呼びかけている。

①認定事業

平成24年3月31日現在

敷地内禁煙	屋内禁煙 (建物全体)	屋内禁煙 (テナント等の一部)	完全分煙	合計
75	142	41	1	259

②禁煙推進店普及事業

禁煙推進店：2施設

エ 禁煙普及啓発活動

住民に対して、喫煙の及ぼす健康被害について啓発を行っている。

a 富士河口湖町と共催で、中学校に対して防煙研修を実施。

b 中学生や企業等を対象に、たばこの害や防煙教育に関する出前講座を実施。

c 県民の日富士吉田会場などイベントにて、ポスター掲示とリーフレット配布。

オ 出前健康講座の実施

依頼のあった事業所、施設、学校等へ保健所職員が出向き、各種健康講座を実施した。

20会場 1721人参加。

(3) 栄養改善推進事業

食生活のあり方と密接な関連のある生活習慣病予防対策として、望ましい食習慣の定着や、エネルギー等の過剰摂取やカルシウム等の不足など栄養素の偏りの改善、減塩運動の推進等、正しい食生活と健康づくり運動に努めた。特に地域の食生活改善のリーダーである栄養士、食生活改善推進員および調理師組織の育成や資質の向上のための研修会等を開催した。

また、健康増進法に基づく特定給食施設等の把握および栄養管理指導を実施した。

ア 栄養指導・研修会の実施状況

地域住民への食生活改善のための集団指導及び講習会を実施した。また、生活習慣病等の疾病を有する者やその家族に対し、市町村や医療機関との連携をとりながら個々人に応じた専門的な栄養・食生活指導を行った。

イ 栄養士研修会

月日	場 所	内 容	出席者
5月14日	光 千	「自然災害における給食施設の対応」	16
8月18日	昭和大学富士吉田校舎	「自然災害における給食施設の対応」 「食中毒の予防について」	254
2月18日	富士吉田合同庁舎	「施設における主菜のソフト食」 「テクスチャー改良剤～ソフト食～」	20

* 糖尿病勉強会への協力 年8回

ウ 市町村栄養士業務検討会

月日	場 所	内 容	出席者
9月8日	富士吉田合同庁舎	・健康危機管理時における行政栄養士の役割について ・事業の関わりと進捗状況について	4
11月14日	富士吉田合同庁舎	生活習慣病の把握(保健師合同)	5
1月10日	富士吉田合同庁舎	・事業の見直しや検討 ・行政栄養士現任教育の進捗状況	6

* 新任期行政栄養士業務検討会を6回開催した。

エ 食生活改善推進員研修会

月 日	場 所	内 容	出席者数
4月21日	忍野ふれあいホール	食生活改善推進員として～楽しく活動しよう～	250
11月9日	明治みるく館	工場見学(視察研修旅行)	90

* 理事会・運営委員会等 4回開催

オ 調理師研修会

月 日	場 所	内 容	出席者数
10月3日	富士吉田合同庁舎	食品衛生について 山梨県における淡水魚養殖について ・調理講習・試食 「地元の食材を使った料理の試食」 試食：山中湖の公魚変わり揚げ、	41

	一般給食センター (11)								
	その他 (12)								
	計 (13)	0	0	1	1	1	1	1	0
1回300食以上又は1日750食以上 (指定施設①を除く)②	学 校 (14)	3	3	3	3	4	8	12	
	病 院 (15)								
	介護老人保健施設 (16)								
	老人福祉施設 (17)								
	児童福祉施設 (18)								
	社会福祉施設 (19)								
	事業所 (20)								
	寄宿舎 (21)								
	矯正施設 (22)								
	自衛隊 (23)								
	一般給食センター (24)								
	その他 (25)								
	計 (26)	3	3	3	3	4	8	12	0
1回100食以上又は1日250食以上 (①、②を除く)	学 校 (27)	3	3				4	4	2
	病 院 (28)			6	9	25			
	介護老人保健施設 (29)	1	1	4	5	6	1	2	
	老人福祉施設 (30)	1	1	3	3	5	2	4	
	児童福祉施設 (31)						12	12	8
	社会福祉施設 (32)								
	事業所 (33)						3	3	7
	寄宿舎 (34)								
	矯正施設 (35)								
	自衛隊 (36)	1	1						
	一般給食センター (37)								
	その他 (38)								
計 (39)	6	6	13	17	36	22	25	17	
その他の給食施設	学 校 (40)						5	5	2
	病 院 (41)	1	1	1	1	3			
	介護老人保健施設 (42)								
	老人福祉施設 (43)			4	4	6	5	12	
	児童福祉施設 (44)						10	10	15
	社会福祉施設 (45)			1	1	1	2	4	1
	事業所 (46)						1	1	7
	寄宿舎 (47)								
	矯正施設 (48)								
	自衛隊 (49)								
	一般給食センター (50)								
	その他 (51)								1
計 (52)	1	1	6	6	10	23	32	26	

キ 組織の運営支援

地域住民の食生活改善や健康づくりのため、その担い手である地域組織の育成を次のとおり行った。

組織名	会員数（人）	開催回数（回）
栄養士会	68	2
食生活改善推進員	903	4
調理師会	355	3

ク 健康づくりのための運動指導

運動不足が原因となる肥満、高血圧、高脂血症等の生活習慣病の予防等を目的に生活の中に運動を取り入れて、健康を維持増進するための、食生活改善推進員養成講習会等の場で、栄養指導を含めた運動指導等を行った。

ケ 市町村に対する支援

(ア) 市町村における地域栄養改善活動が円滑かつ適切に実施できるよう、技術的支援や

平成 23 年度

	富士吉田市	都留市	大月市	上野原市	道志村	西桂町	忍野村	山中湖村	鳴沢村	富士河口湖町	小菅村	丹波山村	計
食生活改善推進員組織の育成	2	3	1	1	2	1	1	1	1	1		4	19
栄養指導		2											2
運動指導												1	1
業務検討	4	2	2	2	2	1		1	4	2		2	23
その他	1	1	1	1	1	3	2	2	1	1		2	16
計	7	8	4	4	5	5	3	4	6	4	0	9	59

連絡調整を行った。

(イ) 食生活改善推進員の養成

健康生活についての正しい知識と技術を学習し、自らがその実践者となり、その知識と実践力を活かして、地域住民の食生活改善や健康づくりの担い手として活動するランティアの養成事業に協力した。

コ 市町村栄養士配置促進

市町村での、食育やメタボ予防、介護予防等の栄養サービスを必要とする人は増加している。

住民へ健康やQOL向上のためサービスを提供する必要から、未配置市町村へ地域の健康・栄養情報（食育や保健指導等）の活動拠点となるよう「管理栄養士・栄養士」の配置の促進を行なった。

＊「特定検診・保健指導実施に向けた、管理栄養士配置のため地方交付税措置が講じられている。」

※ 配置状況

富士吉田市・都留市・大月市・上野原市・忍野村・鳴沢村・富士河口湖町

サ 病態別栄養相談指導

生活習慣病等の疾患を有する者やその家族に対し、その病態の改善やQOLの向上を支援するため、市町村や医療期間と連携し、個々人に応じた専門的な栄養・食生活指導を行った。

	実人員	延人員	主な疾患名
生活習慣病関係	6	9	高血圧・糖尿病・高脂血症・腎不全
難病関係	3	3	パーキンソン病、クローン病
その他	0	0	
計	9	12	

シ 免許関係事務の状況

区分	免許申請	書換訂正	再交付証明	照会証明
管理栄養士	3	2		
栄養士	29	7	5	
調理師	54	8	9	
調理師試験受験願書受理者数	46			

(4) 歯科保健事業

ア 歯の無料相談所の開設

歯の衛生週間（6月4日～10日）にあたり、歯の衛生に関する正しい知識の普及啓発と歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着、併せて早期発見、早期治療等の徹底により健康の保持増進に寄与することを目的とし、「歯の無料相談所」を開設した。

日時 平成23年6月4日（土）午後1時45分～4時30分
 会場 ショッピングセンター Q-S T A 4階
 主催 山梨県歯科医師会南都留支部
 共催 山梨県富士・東部保健福祉事務所、山梨県歯科技工士会吉田支部、山梨県栄養士会富士・東部支部、山梨県歯科衛生士会南都留支部
 内容 歯科検診、歯科相談、歯磨き指導、フッ素塗布、栄養相談、キャンペーン品・パンフレット配布 等

7 石綿（アスベスト）健康被害救済制度

労災保険法等で補償されない、中皮腫や石綿（アスベスト）による肺がんを発症している方及びこの法律の施行前にこれらの疾病により死亡された方の遺族に対して、「医療費等の救済給付」が支給される。

(1) 特別遺族弔慰金・特別葬祭料請求件数（特別遺族弔慰金等に係る制度の周知事業）

請求件数	相談件数
1	1

(2) 石綿健康被害救済制度の受理件数

申請件数	相談件数
0	0

8 個別・集団保健指導

(1) 所内相談

種別	延べ件数
結核	350
難病	528
精神	
母子	58
その他	18
計	

(2) 家庭訪問

種別	延べ件数
結核	131
難病	56
精神	
母子	34
その他	0
計	

(3) 健康教育

実施回数	内容・対象等
4回	<ul style="list-style-type: none"> ○喫煙防止教育富士河口湖町立西浜中学校 対象：富士河口湖町 西浜中学校1年生・保護者・学校関係者 18人 ○喫煙防止教育富士河口湖町立湖北中学校 対象：富士河口湖町 湖北中学校1年生・保護者・学校関係者 35人 ○生活習慣病予防講習会「生活習慣とがん」 対象：富士吉田商工会議所会員 11人 ○生活習慣病予防講習会「中高年齢者の健康管理について」 対象：富士急行(株)定年退職者 24人